

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は正味財産増減額として処理）を採用している。

また会計処理は洗替処理でなく切放処理としている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	43,874,550	0	0	43,874,550
投資有価証券	81,272,000	0	5,264,000	76,008,000
小計	125,146,550	—	5,264,000	119,882,550
特定資産				
貸与貸付金	11,760,000		2,880,000	8,880,000
奨学事業積立資金	188,682,475	23,500,445	25,487,864	186,695,056
小計	200,442,475	23,500,445	28,367,864	195,575,056
合計	325,589,025	23,500,445	33,631,864	315,457,606

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	43,874,550	(43,874,550)		
投資有価証券	76,008,000	(76,008,000)		
小計	119,882,550	(119,882,550)		
特定資産				
貸与貸付金	8,880,000	(8,880,000)		
奨学事業積立資金	186,695,056	(186,695,056)		
小計	195,575,056	(195,575,056)		
合計	315,457,606	(315,457,606)		

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
使途の制約の解除による振替額	11,874,196
合 計	11,874,196